

三回掲載せし

二〇七

日本の銅像論として藝術家の良心みなびと起せし
もの、~~日~~中村不折氏談とせしが有植子、誤り
て二三の藝術家の會談を傍聴して記者の
意思を以て編しころしあり え未不折氏二度
係なき一子つき茲に訂正す

記者

次探の又文章掲載とす

「若名の所約集のものも 需知名お成し
る 雪ふるをどい 飛常ニ 激ぬん
許 あると申長、此小生の 送或の
は子あしし 日本 以前は 掲載
小生の 名前 所取 消す べき

え未 小生の 自ら 兼子 起 因 せしもの
あれど せぬが 一 遷 心 名 の 所 始 事 成
行 せざりし 事 による こと、~~な~~ 兎 仁 角
小生の 送或の 内 自ら 消す べき
中お

白鳥 智 子